

直腸切除術＋人工肛門造設術を受けられる 様へ

説明医師

P 1 / 3



















説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	入院日(手術2日前)	手術前日	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けられる ○治療に対する不安を表出できる			○術後合併症を起こさない(出血、深部静脈血栓症、肺炎、縫合不全、感染、腸閉塞) ○合併症予防のためリハビリ(歩行訓練、呼吸訓練)が行える	
検査	レントゲン撮影				朝採血 (レントゲン撮影)
食事	※朝食はご自宅で(いつもの形態)入院後流動食	朝から絶食(水、茶、スポーツドリンク可) 経口補水液は、麻酔科の指示で服用	絶飲食		朝より水分開始
	※				
処置・観察	リストバンドを装着します(退院日まで)	点滴の針を留置します 弾性ストッキングのサイズを測定しお渡しします 臍処置します(シャワー前)	朝洗腸します 時間になれば看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物、装着物があります ・酸素マスク → ・心電図モニター → ・点滴の管 → ・背中のチューブ(鎮痛剤) → ・創部の管(ドレーン) → ・尿道カテーテル → ・フットポンプ(血栓予防) →	創部の観察、処置を行います
		状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります			
点滴・内服		 ・昼 250ml の下剤 ・夕 抗菌薬 ・眠前→下剤 抗菌薬 		 ・持続点滴 ・抗菌薬	
行動・リハビリ			 ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し		
説明	 ・治療計画について ・手術について ・麻酔について ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について ・持参薬確認 ・使用薬剤について			 ・手術結果について ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について ・痛み止めの使用方法について	

*** 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
 * この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日～月 日	月 日～ 月 日
経過	術後 2 日目	術後 3 日目	術後 4～6 日目	術後 7～9 日目	術後 10～16 日目 (退院日)
目標	術後合併症を起こさない（出血、深部静脈血栓症、肺炎、縫合不全、感染、イレウス） 合併症予防のためリハビリ（歩行訓練、呼吸訓練）が行える ストーマ装具の便を排出する練習が始められる ストーマ装具の交換が 看護師と共にできる				退院後の日常生活上の 注意点が述べられる ストーマ装具の交換が、 一人又は家族とできる
検査		 (採血)		 (採血)	
食事	朝より 流動食開始	朝より全粥食	朝より常食		退院日は朝食のみ
処置・観察	以下の挿入物があります ・点滴の管 → 点滴が不要となれば抜去します ・背中のチューブ（鎮痛剤）→ 不要となれば抜去します ・創部の管（ドレーン）→ 排液の状況を見て抜去します ・尿道カテーテル → 術後 2～3 日で抜去します  創部の観察、処置を行います →				退院日にリストバンドを外します
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
点滴・内服	 夜 血栓予防薬 皮下注射  持続点滴	 朝、夜 血栓予防薬 皮下注射 （徐々に点滴量が減ります）	 下剤を服用 します	術後 7 日目まで	
行動・リハビリ	  状況に合わせて、全身清拭、洗髪、足浴を行います  尿道カテーテル抜去後はトイレで排尿できます			 創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開 します（週 3 回、病棟毎で日が異なります）	 制限はありません  (退院日) 朝食後退院です
説明・指導	 ～看護師より指導～ ストーマケアについて、「口消化器ストーマを作られた方へ」を使用し、 心身の回復状況に合わせて説明、実演していきます（必要に応じてご家族も）				 医師より ・退院後の治療計画、 療養上の留意点について  看護師より ・退院後の療養生活 について （退院療養計画書を お渡しします）  療法士より ・退院に向けて
	① ストーマとは ② ストーマの種類 ③ 便の処理方法 ④ 装具交換の方法 ⑤ ストーマケアのポイント ⑥ 装具の保管購入について ⑦ 身体障害手帳の申請について（永久ストーマの方）				⑧ 医療費控除について ⑨ 日常生活について ⑩ 皮膚障害について ⑪ ストーマ外来について ⑫ 患者会について

